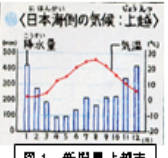


教科名	対象学年	使用した資料（参考にした資料）	TYPE
社会	小学5年	授業アイデア集【小学校版】p29, 30	Ⅱ
授業内容		グラフを読み取り、日本の食料生産の問題を見つけよう。	
身に付けたい力		グラフから必要な情報を読み取り、社会的事象の説明ができる。	

教科名	対象学年	学校名	課題の見られた問題	TYPE
社会	5年	小倉野町立小倉野小学校	25年度 県 6	Ⅲ
授業の内容				
グラフや図を読み取り、特色ある地域の様子を説明しよう。				
身に付けたい力				
グラフや図などから必要な情報を引き出し社会的事象の説明ができる。				
【グラフや図を読み取り、特色ある地域の特徴を説明する取組】				
「気温と降水量のグラフ」から、地域の気候の特徴を説明しよう。				
①日本の特色ある地域（新潟県上越市、静岡県静岡市、長野県軽井沢町）の気温と降水量のグラフから、各地の気候の特徴を読み取る学習を行うことを指示する。				
②気温と降水量のグラフの基本的な見方の説明を聞く。				
③3つの地域の場所を白地図に記入する。（このとき、各地域が日本海側、太平洋側、中央高地に位置していることを確認する。）				
④どの学習班（4人程度）が上越市、静岡市、軽井沢町のどの気候の特色を読み取るかを指示する。またどのグラフから読み取ればいいのか確認をする。				
⑤個人でグラフから、特徴を読み取る活動を行う。（例：上越市）				
 <p>1月と12月に降水量が多いね。次は、11月と2月だから冬に多いんだね。</p> <p>⑥学習班で気付いたことを発表し合い、グラフから読み取れることをまとめる。</p> <p>冬に降水量が多いし、気温も低いから雨、より雪がたくさん降るんじゃないかな。</p> <p>一人の子供から、一つの気づきが、出てくるとよい。</p> <p>見つけたことを認め合い、他の意見の読み取りを深める。</p> <p>僕は、夏に注目したよ。夏は気温が30度近くまで上がっているの暑いんだと思う。あと冬より雨が少なくて暑い。</p> <p>そうか、上越市は、雪がたくさん降るんだ。でも、夏は暑くて雨が少なくて暑いんだね。</p> <p>4人の意見をまとめる。</p> <p>新潟県上越市 ・冬に雪がたくさん降る。 ・冬は気温が低い。 ・夏は雨が少なくて暑い。</p> <p>【見つけられなかった子供は】</p> <p>そうか！ 上越は冬に降水量が多いのか、冬ってことは寒いから雪なんだ。</p> <p>できている子供たちの発表を聞くなどして、発見をする。</p>				

⑦学習班ごとに発表して、わかったことを学級全体で共有化する。

新潟県上越市

- ・冬に雪がたくさん降る。
- ・冬は気温が低い。
- ・夏は雨が少なくて暑い。




図2 新潟県上越市

静岡県静岡市

- ・夏は雨が多くて暑い。
- ・冬に雨が少なくて寒い。
- ・つゆや秋の長雨がある。

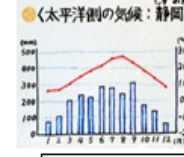


図3 静岡県静岡市

長野県軽井沢町

- ・1年間、ずっと降水量が少ない。
- ・冬は気温が低い。

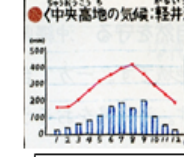


図4 長野県軽井沢町

⑧各地域の特徴を示す。

上越市は、冬に雪が多いね。
静岡市は、夏に気温が高くて雨がが多いね。
軽井沢町は、夏は涼しくて、冬の寒さは厳しく、1年間を通じて降水量が少ないね。

⑨各地域の特徴の理由を調べさせ、説明する。

なぜ、上越市は、冬にたくさん雪が降るのだろう。
先生、「季節風による天気の変化」という図があるよ。この季節風のせいじゃないかな？

日本海側の上越と太平洋側の静岡では冬と夏で降水量のグラフが逆になっているね。
冬と夏で季節風の風向きが変わって、天気も変わるのですね。では、軽井沢は他の地域と比べて気温が低く、降水量が少ないのはなぜですか？

標高の高い所は気温が低く、また軽井沢は季節風によってできる雪が厚まってくいのです。
軽井沢町は、中央高地となっているのでP22の左下の図ではちょうど中央の山の上あたりです。高い山の上では気候が涼しくて雨が少なくてはないかな。

⑩子供たちの言葉でまとめる。

【授業のポイント】

- グラフや図から、子供たちが読み取る場面を設定し、子供たち自身が特徴を見つけられるようにする。
- 活動のなかで、グラフの読み取り方を繰り返し体験できるようにする。

【授業のポイント】

- グラフから、子どもたちが読み取る場面を設定し、子どもたち自身が特徴を見つけられるようにする。
- 活動のなかで、グラフの読み取り方を繰り返し体験できるようにする。

【授業の様子】

- ・食料生産に関するグラフから、日本の食料生産の問題を見つけ出す学習を行うこと指示する。
- ・グラフの表題、縦軸、横軸が何を意味しているのか全体で説明を聞く。
- ・〔個人学習〕それぞれのグラフごとに気付いたことを付箋紙に記入する。〔KJ法〕
- ・〔グループ活動〕調べたことを発表して、模造紙に貼り意見交換をする。その際、似た意見をまとめる。

食料自給率の
グラフを見たら
カナダが一番高
かった。

日本の食料自
給率は、昔と比べ
ると段々と下が
ってきている。

小麦と果物の
輸入量が高い。

昔と比べて輸
入量が増えてい
る。

- ・出された意見をカテゴリー分けして、「見出し」を書く。

(上記付箋紙例)



「日本の食料自給率
は低い」のかな。

「日本の食料は輸入
が多い」んだね。

- ・カテゴリーごとに繋がりや関係がある場合、線や矢印でつなぎ考えを書く。

意見を
まとめる

日本の食料自給率が低いから輸入が多いのかな？



「日本の食料生産の現状」

- ・日本の食料自給率は、外国と比べて低い。
- ・日本は、輸入に頼っているのかな。



- ・〔全体学習〕学級全体で日本の食料生産の問題を焦点化する。

「日本の食料生産の問題」

- ・国産の物が食べられなくなってしまう。
- ・日本の農家がいなくなってしまう。
- ・食料自給率がますます減ってしまう。

- ・〔個人学習〕課題に対しての答えを書く。

【効果】

- ・付箋紙を用い思考を〔視覚化〕し、グループで比較・関連・統合することで〔共有化〕し、見出しやカテゴリーの繋がりなど書くことで問題が〔焦点化〕され、新たな発見や知識の獲得ができ、自分の考えが明確になった。

【留意点】

- ・違いに注目させて比べながらグラフを読み取らせるようにする。
- ・グラフを読み取るのに支援が必要な児童には、机間指導を行い具体的に誰にどのような支援を行うか計画を立てておく。
- ・グループのメンバーを意図的に組み、様々な意見にふれることができるようにする。